

## DMO新商品開発事業について

**近藤委員** くずまき鍋新商品開発事業についての成果を伺う。

**いらっしやい葛巻推進課長**

第3セクターのほか、今年度、町内3店舗が新たに事業を実施。11月から3月までの4カ月間で、新店舗3店は656食、第3セクターでは1623食出ており、コロナ禍で飲食店の売り上げが落



新たに商品開発されたワインソルト

ち込んだ中においては、テレビ番組にも取り上げられるなど話題性もあり、町内外への発信と、町内の飲食店など売り上げ増加等の成果があったと認識している。

**近藤委員** くずまき鍋以外の商品開発の状況について伺う。

**いらっしやい葛巻推進課長**

DMOの活動の中で、町の食材を活用して何かできないだろうかというワークショップなど重ねてき

た。その中で、ワインソルト、畜産開発公社ではチーズクッキー、(株)岩手くずまきワインではワインを使ったポークションやミートピザなど、DMOで検討された物が商品化につながった事例もある。

## プレミアム付商品券の経済効果について

**遠藤委員** 町独自の施策

プレミアム付商品券工本ジョイチケットの町内における経済効果を伺う。

**いらっしやい葛巻推進課長**

エンジョイチケットの販売は好評で、補正予算を計上し、再度販売するほどであった。販売されたエンジョイチケットは、町内の商店や飲食店で多く利用されており、経済効果があったものと認識している。

## 反対討論(要約)



近藤 聖 議員

一つ目は、木橋建設工事についてである。令和3年度予算審議の際に実施した町民への独自アンケート調査において、納得していない町民がおり、事業が進む中で「本当に大橋に屋根をかける必要があったのだろうか」という疑問が生じたが、いまだに払拭できていない。また、商工費の「木橋建設工事」という予算項目についても疑問である。これまでの工事名は「町道葛巻浦子内線大橋下部工工事」あるいは「大橋上部工工事」という名目で執行されている。今回の工事の予算・決算は、商工費で執行され、工事

名も「木橋建設工事」となっていることから、工事名を「大橋上屋工工事」とすべきだったのではないかと。また、大橋を「木橋」と呼ぶのには抵抗がある。今後、大橋を見に来られた方には「国内では大変希少な木屋根橋」と紹介、説明をした方が分かりやすいと考える。二つ目は、文化財保護事業費の予算が少なすぎることである。文化財保護は、単に文化財の保管、維持だけでなく、展示・活用・調査・研究・評価・発信・啓発、物件によっては発掘・修復など幅広い活動が求められる。現在の葛巻町に繋がるあらゆる文化財を大切に管理し、町民や将来町を背負って育つ子供たちの財産となる文化財保護行政にもっと光を当てていくべきである。以上のことから、令和3年度一般会計決算の認定に反対する。

## 出生数の減少について

**辰柳委員** 出生数を増やすためには若い女性の人口増が必要であるが、具体的な施策について伺う。

**副町長** 町内の若い女性の人口増には、雇用の場の確保が必要。町ではDMOの活動により、起業も視野に入れた商品開発など行っている。若い人が起業できる町にしたいことから、支援などの充実を図る。

## 地方版総合戦略について

**山崎委員** 地方版総合戦略の効果と検証について、有識者会議で出された意見や指摘事項について伺う。

**政策秘書課長** 有識者会議では以下のことが見て出された。出生数を増やすためにパート

ナー制の導入・山村留学生卒業後の町との関わり方を検証・町内にある企業や仕事を更にPR・消費防団や自治会の再編成・インターンシップの積極

## 畜産開発公社について

**辰柳委員** 畜産開発公社において、乳牛の育成事業は重要であるが、事業の担い手の育成について伺う。

**副町長** 畜産開発公社の施設の老朽化など諸課題も含めて、今後検討していく。



DMOの活動に参加する若者(サテライトオフィス)

## 賛成討論(要約)



辰柳 敬一 議員

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の流行がとどまらず、町民の生活、雇用や経済においても、大きな影響が出た1年であった。感染拡大防止やワクチン接種、地域経済の回復に向けた対策・対応のほか、町制施行66周年の節目を町民と祝うなど、「山村のモデル」としての取組みを町内外に発信してきた。

新型コロナウイルス感染症拡大を機にテレワークが普及している状況を踏まえ、リモートワークを可能とする「サテライトオフィス」が整備され、デジタル社会における新

また、町産木材を活用した大橋が完成し、今後「林業の町くずまき」の広告塔として大きなPRと、新たなスポットとして誘客効果が期待される。その他、「くずまき鍋」の開発・提供では、第3セクターに加え町内飲食店3店舗が加わり、町の新たな食文化と「食」を始めたとした地域の活性化に取り組んだ。さらには、新型コロナウイルス感染症により、大きく影響を受けた町内商工業者の事業継続を支援するための各種対策事業や地域経済の回復を図るための町独自のダブルプレミアム商品券事業に取り組んだ。

また、町の各種財政指標についても良好な状況である。